

サステナビリティレポート2022を公開しました

当社は、創業以来130年以上にわたり、保険・サービスの提供を通じてお客様に安心・安全をお届けしてきました。「安心・安全」という言葉の意味が時代とともに変化し、お客様や社会から期待される当社の役割がますます高まる中で、当社は社会課題の解決に資する取り組みを通じ、社会的な役割をさらに発揮してまいります。それらの取り組みを当社ホームページ「サステナビリティ」にて、公開しています。

サステナビリティレポート2022を公開しています。詳しくは、当社ホームページ「サステナビリティ」よりご覧いただけます。

[○当社のホームページ「サステナビリティ」はこちら](#)

[○当社の主な情報開示媒体一覧はこちら](#)

サステナビリティレポート2022の 主な内容

- トップメッセージ
- 日本生命におけるサステナビリティ経営
- サステナビリティ重要課題への取り組み
 - ・商品・サービス提供体制
 - ・海外での事業展開
 - ・ESG投融資
 - ・明るく活力ある地域・社会づくり
 - ・地球環境への取組
 - ・従業員への取組
- サステナビリティ経営を支える基盤
 - ・コーポレートガバナンス
 - ・ステークホルダー・エンゲージメント
 - ・コンプライアンス
 - ・人権の尊重
 - ・リスク管理
- イニシアティブへの参加
- 社外からの評価

サステナビリティ取り組み例

商品・サービス提供体制

新3大疾病保障保険「3大疾病 3充マル」の発売

～お客様一人ひとりが、より健康でより長生きできる人生を過ごすために～
がん・急性心筋梗塞・脳卒中の3大疾病や死亡の保障に加え、重症化前の疾病やがん検診に関する保障を組み込んだ商品であり、さらに、所定の疾患と診断確定された場合にご利用いただけるサービスも一体提供することで、早期発見・早期治療による重症化予防をサポートします。



ESG投融資

「コッセイ・グリーンローン」の取り扱い開始

～持続可能な社会の実現とお客様利益の一層の拡大のために～
当ローンは、環境改善効果が認められるグリーンプロジェクトを資金用途とするものです。今後も、当ローンの活用を通じ、企業の脱炭素化に向けた取り組みを後押しするとともに、運用収益の向上を通じたお客様利益の拡大に繋がっていきます。



(提供：三井不動産プライベートルート投資法人)

明るく活力ある地域・社会づくり

自治体との連携協定に基づく取り組み

～地域とともに発展していくために～
都道府県や市区町村と「包括的連携協定」や「個別連携協定」の締結等、行政との協働を進めています。例えば、健康増進に向けた活動の一環として地域のお客様にがん検診に関するポスターを配布する等、自治体からの要望を踏まえた情報発信に協力しています。



地域ごとのがん検診受診データを掲載し、受診を促す情報ポスターの配布

地球環境への取り組み

木造の環境配慮型営業拠点の新設、再生可能エネルギーの導入 ～脱炭素社会の実現のために～

日本生命グループは、事業活動におけるCO₂排出量の削減目標を2030年度▲51%以上(※)、2050年度ネットゼロに設定しています。2022年9月、木造で太陽光パネルを設置するなど、環境に配慮した営業拠点を刈谷支社知立営業部として新設しました。その他にも保有ビルへの再生可能エネルギーの導入など、CO₂排出量の削減に各種取り組んでいます。

* 対2013年度



上：建築中の建物内部写真
下：知立営業部の外観写真
(提供：ミサワホーム株式会社)